

えほんのおへや通信



2010年3月1日(月)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

今年度も残りわずかとなりました。「たいよう」(年長児)さんはこれから新たな出会いに旅立ちます。サンガの絵本たちをいつまでもいつまでも忘れないでください。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」3月号の紹介。

こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き

「むすんだそのてを ひらいてみせて」

安部賢司作

きゅっと結ばれた小さな手。「むすんだそのてを ひらいてみせて」の呼びかけに、ぱっと指を開きます。その手に握られていたのは、小さなビスケットでした。手を使いたくないないばあのような絵本です。



こどものとも 年少版 2～4歳向き

「かまきりかあさん」

杜 今日子作

おなかの大きな、かまきりかあさん。おしりから白くてふわふわしたものを出すと、そのままいなくなってしまう。その不思議なかたまりは、強い風が吹いても雨に打たれても平気です。やがて秋が過ぎて冬を越し、暖かい春がめぐってくると、中からはたくさんの赤ちゃんかまきりが！



こどものとも 年中向き 4～5歳向き

「ネズミのしっぽ」

ニューカレドニアのおはなし

大角翠採話 / あべ・ポストン文・絵

昔、ネズミにはしっぽがありませんでした。ある時、海におぼれそうになったネズミをタコが助けてくれました。ところが、ネズミはお礼を言うどころか、タコを笑いものにしたために、仕返しに長いしっぽをくっつけられてしまったのです。



こどものとも 5～6歳向き

「こひつじ とことこ」

松野正子作 / 猫野べすか絵

子羊のとことこは、毛を刈られるのがいやで牧場から逃げ出します。とことこ走っていきますが、途中で丘から転がり落ちて動けなくなってしまいます。通りかかった男の子が助けてくれて、親切に介抱してくれたおかげでとことこは元気になります。



ちいさなかがくのとも 3～4～5歳向き

「ウグイス ホケキョ」

三宮麻由子文 / 飯野和好絵

冷たい空気の残る春の林で、ウグイスが「ホーホケキョ」とさえざる練習をしています。でも「フー フー ホケキョ」「ケチュン ホケチュン」……なかなかうまくさえざることができません。



今月は他にこんな絵本も購入しました。

「もりのひなまつり」

小出保子作

福音館書店

3歳から

のねずみたちに頼まれて森にでかけたお雛さまは、森の動物たちと楽しい一日を過ごします。帰り道、雪が降り始め、家に戻ったお雛さま達はすっかり汚れてしまいます。さあ、大変！



【雑感】

一年が駆け足で過ぎ去っていく。「いろはにおえど・・・」とある「いろ」とは花のこと、花は散る運命にある。春は桜、梅、桃をはじめとした花が咲き乱れますが、すべて散ってしまいます。世の中の出来事も「・・・つねならん」なのです。

どんな世の中でも政治は国民に将来の不安を取り除く役目がある。今は医療、社会保障、雇用・・・どれを見ても不安だらけ・・・前政権の残した膿は多い。

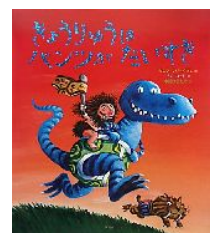
「きょうりゅうはパンツがだいすき」

クレア・フリートマン【文】 ペン・コート【絵】 中川 ひろたか【訳】

3歳から

講談社

むかしむかし きょうりゅうがぜつめつしてしまったそのわけは・・・。バカバカしいけど、素直に面白いです。色彩豊かで、きょうりゅうたちが、こわくかわいく描かれていて楽しいです。



※絵本の表紙の画像は出版社の許可を受けて掲載しています。